



**長地山の手**

**土地区画整理事業 完成**

**岡谷の新しい玄関口として  
地域の発展に期待!!**



## 岡谷市の 土地区画整理事業

岡谷市の土地区画整理事業は、3地区の事業があり、市施行としては岡谷駅南土地区画整理事業と、湖畔若宮土地区画整理事業があります。組合施行としては、長地山の手土地区画整理事業があり、11月に事業が完成しましたのでみなさんに事業についてお知らせします。

## 長地山の手土地区画 整理事業の経緯

長地山の手地区は事業地内の標高差が68mある複合扇状地にあり、周辺一帯は水田を主とする農耕地でした。

農地と住宅が混在し道幅も狭いこともあり市街化の気運が高まり、地区

内を国道20号バイパスが通過する計画があったこと、都市基盤整備の促進と健全

で良好な市街地形成を図り、無秩序な宅地化の防止を図ることが望まれたことから、その整備手法について、地権者有志による研究会を発足させ研究を重ねた結果、平成3年2月土地区画整理事業により整備を進めることになりました。

平成7年7月には、県より国道142号バイパス事業の計画が発表され、当事業に与える影響が大きかったことから、地元ではこの事業計画の受け入れにあたって

約2年余りを要し、平成9年10月に計画の受け入れを決定しました。  
この地域は、交通の重要拠点として位置付けられ、良好な市街地形成のため長地山の手土地区画整理事業に対して、国・県の指導のもとにできる限りの支援と協力をしてきました。



地域の発展を願う「大望」の二文字を大きく刻んだ主碑と、事業の沿革などを彫った副碑の記念碑を除幕（11月9日）

## 事業経過

年月日	内容
昭和60年12月24日	地元有志による研究会発足
昭和61年9月22日	地権者総会準備組織発足
平成2年10月29日	都市計画決定（市告示第54号）
平成2年11月13日	下諏訪辰野線、国道20号バイパス都市計画変更決定（県告示第770号）
平成2年11月27日	事業区域の告示（市公告第60号）
平成3年2月12日	区画整理組合設立認可（事業計画決定）
平成6年8月26日	仮換地指定（地区内全区域）
平成6年10月中旬～	工事着手 家屋移転補償・造成工事
平成7年7月	国道142号バイパス事業計画発表
平成9年10月25日	国道142号バイパス整備受け入れ決定
平成14年7月末	工事完了
平成14年8月12日	換地処分公告
平成14年11月9日	完成記念式典
平成15年3月	区画整理組合解散（予定）

## 事業概要

本事業は、事業地内を東西に走る国道20号バイパスと、広域幹線道路として国道142号バイパスおよび中心市街地を結ぶ都市計画道路下諏訪辰野線を配置し、地区内の生活道路としての区画道路の整備、その他十四瀬川、八倉沢などの水路改修および街区公園（目切公園・八倉沢公園）の整備を行いました。



施行前現況写真  
(平成2年5月撮影：上)



施行後の写真  
(平成13年5月撮影：右)



整備された都市計画道路下諏訪辰野線



◆事業名	岡谷市長地山の手土地区画整理事業
◆地区面積	約17.7ha（中屋・中村）
◆総事業費	約3,151,000千円
◆施行期間	平成2年度～平成14年度
◆都市計画道路等	延長981m〔29,098m <sup>2</sup> 〕 (国道20号・142号バイパス含む)
◆区画道路	延長4,093m〔27,473m <sup>2</sup> 〕
◆特殊道路(歩道等)	延長258m〔821m <sup>2</sup> 〕
◆公園・緑地	2か所7,032m <sup>2</sup> (目切公園、八倉沢公園)
◆河川・水路	延長366m〔1,372m <sup>2</sup> 〕 (十四瀬川、八倉沢水路等)
◆宅地	111,453m <sup>2</sup> 〔保留地含む〕
◆事業の特色	国道20号・142号両バイパスとそれにアクセスする都市計画道路下諏訪辰野線を含んだ、新市街地造成型区画整理事業
◆減歩率	合算減歩率 約33%



(上) 湖北トンネル上より展望  
事業地内を東西に通過する国道20号  
バイパスと南北に延びる都市計画道路  
下諏訪辰野線

八倉沢公園からの展望



自然と調和した  
公園

地域のみなさんの憩いと  
交流の場 目切公園



## 夢と希望の持てるまちを

土地区画整理事業は「都市計画の母」といわれ、広い地域にわたって、現代の私たちの生活になくはない道路や公園、上下水道・水路などの整備とともに、それぞれの土地の造成を行い公道に面するようにします。

岡谷市は、第3次総合計画がスタートして4年目を迎えています。豊かな自然と調和を図りながら、将来都市像『人と自然が共生する健康文化産業都市』を目指し、市民総参加によるまちづくりを進めており、このような取り組みの中で、この長地山の手土地区画整理事業により、岡谷市の人口増に寄与いただいております。さらに国道20号・142号両バイパスの幹線道路の整備により、この地域が益々発展されることが期待されるところです。

まちづくりは、そこに市民がいる限り終わることのない大事業です。未来を展望した着実な歩みを、次の世代につなげていかなければなりません。市民のみなさん一人ひとりがまちづくりの主役です。誰もが岡谷に住み続けたい、住んでみたいとの思いが高まる魅力あふれるまちづくりと、そこに住むことに誇りと愛着を持ち、夢と希望をもって生活できるまちを築こうではありませんか。

最後にこの区画整理事業は、後世に残す遺産であり、このまちづくりに結集した地権者のみなさんのことは、永く語りつがれていくものと思います。